

TOPICS

- 平成25年度予算を可決…………… 2
- 定住促進課を設置…………… 4
- 9議員が町政を問う…………… 6



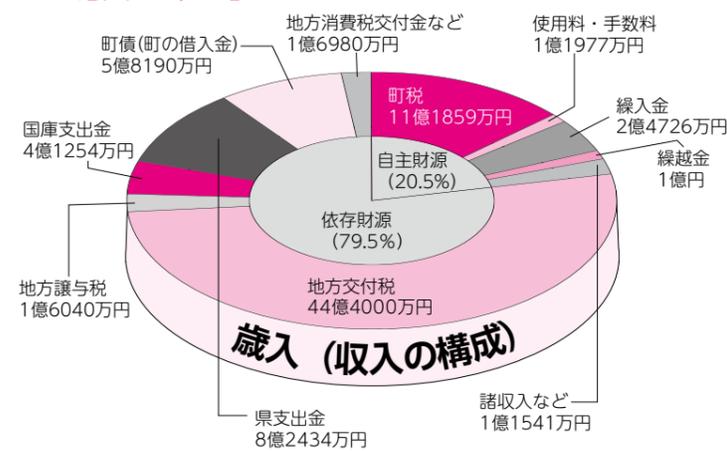
平成25年度予算を可決

平成25年第2回定例会は、3月6日から26日までの21日間開かれた。発議3件、議案51件、陳情2件が上程され、審議の結果すべてを可決した。

新設「加賀中学校」開校へ



一般会計……82億9千万円

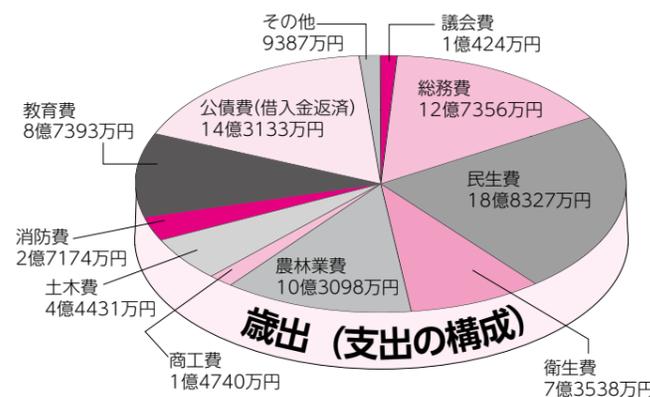


●特別会計●

| 区分 | 予算額 | 対前年比 (%) |
|------------|-----------|----------|
| 国民健康保険 | 15億2565万円 | -6.2 |
| 介護保険 | 19億9889万円 | 5.4 |
| 後期高齢者医療 | 1億5717万円 | -0.8 |
| 育英資金 | 3065万円 | -10.0 |
| 診療所 | 1550万円 | -7.2 |
| 簡易水道 | 4億8112万円 | -6.1 |
| 下水道 | 1億551万円 | -6.1 |
| 農業集落排水事業 | 1億4482万円 | -5.6 |
| 住宅新築資金貸付事業 | 106万円 | -0.9 |
| 吉川財産区管理会 | 1885万円 | -2.4 |
| 大和財産区管理会 | 262万円 | -10.7 |
| 賀陽財産区管理会 | 2513万円 | 3.7 |
| 合計 | 45億696万円 | -1.1 |

●上水道特別会計●

| | 収入 | 支出 |
|----|----------|----------|
| 収益 | 3億2790万円 | 3億1307万円 |
| 資本 | 386万円 | 2507万円 |
| 合計 | 3億3176万円 | 3億3814万円 |



平成25年度 主な事業

消火栓ボックス整備 (新規)

消火栓用のボックスやボックスなどを5年計画で更新するために1千万円。



農村活性化推進事業 (新規)

イノシシ肉や皮等の有効活用、特産品化のため、イノシシの処理加工施設を整備する団体への補助に1千80万円。



新設中学校整備事業

新設中学校の改修工事、施工監理、備品購入などに1億9千982万円。



ピオーネ園設置事業

ピオーネ園のファーム草地をピオーネ園として整備する経費に4千139万円。



3月定例会

おもな条例の改正

課設置条例の一部を改正

加茂川庁舎に定住促進課を置き、企業誘致と定住促進の専門部署として、人口減に歯止

めをかける。

一般職の任期付職員採用に関する条例

高度の専門的な知識、経験又は優れた識見を有する者を一定の期間任期を定めて採用する。

新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等特別措置法に基づき、吉備中央町新型インフルエンザ等対策本部に關し、必要な事項を定めた。

指定管理者の指定
鳴滝森林公園

岡山森林組合に指定管理料100万円。

ラーバニスト小森の里

Relife Lab (株) 指定管理料300万円

飛躍の郷「ひだまり」

上田西住民会 指定管理料65万円

地域食材供給施設「品野屋」

(有)小林成和建設 指定管理料125万円



リニューアルで集客を

平成24年度補正予算

平成24年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億3千万円減額し、歳入歳出の総額を98億6千784万円とする。

陳情

小人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請についての陳情

国へもの申す

採択(全員賛成) 農地への太陽光発電設備設置に関する陳情 趣旨採択(全員賛成) 小人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書 (全員賛成)



住みよい町で子育てを

小児等医療費給付条例の一部を改正

満18歳に達する年度末までにおいて、高等学校・中等教育学校の後期課程・特別支援学校の高等部・高等専門学校又は高等専修学校

しいたけ園 条例を廃止

利用者も少なくなくなり、初期の目的も達成したので廃止。

特別職の職員で非常勤の報酬改正

公民館長の年額報酬を削減し、月額のみとする。

定住促進課

新たな課の増設は合理化に矛盾しているが、整合性はあるのか。

企画課ではかけ持ちになり、各課にまたがり難しかった。専門課で人口減に歯止めをかけた。職員の全体数は増員しない。

で、就学していない子供もいる。在学の把握が難しい。

対応する費用はどのくらいか。

高校生が約600人なので、小児等医療費予算25年度6千100万円。24年度より1千800万円多く見込んでいる。

小児等医療費

中学校までは資格証を病院で提示なのに、高校生はなぜ受診後の償還助成なのか。

高校生は義務教育ではないの

平成24年度一般・特別補正予算

青年就農給付金の減額が2千925万円と多いがなぜか。

当初22人の予定だったが、人・農地プランができ、5名となり減額が生じた。



期待される新設課

ピアノネ園設置工事に多額の不用額が生じているがなぜか。

単町費で5千400万円予定していたが、5年計画で県の助成が受けられるので、24年度の計画を縮小した。

消費者生活相談員報酬は相談報酬より会議費の方が多いのは。

毎月、加茂川庁舎で1回の相談日があり、その他にサロン等に出前講座もしている。

25年度一般会計予算

農山村・棚田地域・農力再生事業とは、どんな事業か。

イノシシの加工施設で、「賀陽瓜坊クラブ」が行

交通安全支障枯木除去補助金と、支障木伐採業務と

交通安全支障枯木除去は、1人1日5千円で自治組織に助成しているが、高齢者ばかりなどでどうしてもできない場合、伐採業者に委託している。

自治問題は大きな難しい問題で、具体的な施策もなく町長の考えも示さず、丸投げのような予算では認められない。

この問題は住民だけの問題ではない、両エリア・町行政三者の大きな問題である。現状

町全域は難しい、御北地区をモデルとしたい。インターネット・移動販売などいろいろな方策がある。小さな店でも自分たちの店として開けば成り立つのではないか。

男女の出会いを企画するもので、今まで若い方で、ふれ合いの場など取り組んでいるが、新たにお世話をしていたり方々を広げる。

町営住宅建設工事は加茂市場団地の工事か。

23年、24年で2棟4戸ずつ建てたが、25年度は1棟2戸の予算。

ピックアップ 審議

ピックアップ 審議

買い物をしやすいう環境づくり事業は具体的な施策があるのか。

この問題は住民だけの問題ではない、両エリア・町行政三者の大きな問題である。現状



出会いを求めて



石井 雅之 議員

問 いじめの生まれない学校づくりは

答 教職員が人間関係に敏感に

問 町長は議会初日に5項目の施政方針を示され、その中で①新設(加賀)中学校に関連して、「特色ある教育」「いじめの生まれない学校づくり」を指す述べた。

答 昨今、いじめや体罰が全国的に問題になっているが、この点についてどのような認識を持っているか。

答 山本町長 大津市の事件には「なぜ」という気持ちはあるが、いじめや体罰が全国的に問題になっているが、この点についてどのような認識を持っているか。

答 津島教育長 町内の学校でもいじめがあったが、現在解消している。教職員が子供の人間関係に敏感であるよう指導している。



心の通い合う学級に

問 自治組織の本化を公約に、検討委員会の設置も予算化されたが、新しい組織の方向性を考えているか。

答 町長 早急な統一が必要と考えるが、行政が一方的に改編することは好ましくない。検討委員会ではゼロから考えていただく。

問 高齢者の服薬告知放送で呼びかけては

答 町長 町の高齢化率は県下第3位で、服薬管理は難しい問題と認識している。

問 土曜日授業の町の対応は

答 教育長 以前から土曜日に授業や行事をしてきたが、その場合は月曜日を振替休日にしてきた。今回の通知を踏まえ、来年度は3校で振替のない土曜日授業

問 小中学校の週5日制を見直す動きがあり、県教委から「土曜授業」の基本方針が通知された。町ではどう対応するか。

答 大塚企画課長 放送を聞いて間違った服薬をされるおそれもあるが、公聴広報委員会の意見を聞いてみたい。



健康づくりの勉強会

町政を問う

9議員が一般質問



新谷 富彦 議員

問 小規模共同浄化槽設置は基本構想の見直しを開始



みんなの力できれいな川に

問 「町の中心部を流れる宇甘川とその支川で、賀陽域は水質が悪いと言われてきた。4年前に、問題解決のためには、小規模の共同浄化槽を設置するよう質問している。当時の答弁では、国交省、農水省、環境省の3省による国の策定マニュアル改定のため、町も見直しを指示されているということ

答 その検討課題として、人口減少社会で将来の人口動向、地域の人口分布の見きわめ、効率的な下水道整備、集合処理と戸別処理の経済比較、地形的条件、および住民の意向など。

問 自治組織の本化を公約に、検討委員会の設置も予算化されたが、新しい組織の方向性を考えているか。

答 町長 早急な統一が必要と考えるが、行政が一方的に改編することは好ましくない。検討委員会ではゼロから考えていただく。

問 小中学校の週5日制を見直す動きがあり、県教委から「土曜授業」の基本方針が通知された。町ではどう対応するか。

答 町長 町の高齢化率は県下第3位で、服薬管理は難しい問題と認識している。

竹荘、新町は川と県道に挟まれ住宅が建て込み、戸別処理ができない地域である。仮に着工するにも県道のおかげで、道が無く、難工事が予想されている。だが、現在竹荘パイパスも完成間近となった。局所的な改良事業計画はどのようになっているか。4年前の国の見直し指示にどのような対応をされたのか伺う。

答 山本町長 河川の公共水域の水質保全と密接に関連する下水処理施設の整備は、都市機能並びに地域住民の福祉の向上、生活環境の向上を図るものであり、市町村固有の事務と位置付けられている。町の下水道整備事業の現状は、吉備高原都市公共下水と、農業集落排水事業として尾原地区、井原・豊岡上地区、下加茂・上加茂・竹部地区で供用開始している。旧加茂川町で平成4年に、旧賀陽町で平成5年に基本構想が作成され、平成21年度に岡山県クリーンライフ100構想見直しに伴い、吉備中央町汚水処理基本構想の見直しを行って

問 河川の公共水域の水質保全と密接に関連する下水処理施設の整備は、都市機能並びに地域住民の福祉の向上、生活環境の向上を図るものであり、市町村固有の事務と位置付けられている。町の下水道整備事業の現状は、吉備高原都市公共下水と、農業集落排水事業として尾原地区、井原・豊岡上地区、下加茂・上加茂・竹部地区で供用開始している。旧加茂川町で平成4年に、旧賀陽町で平成5年に基本構想が作成され、平成21年度に岡山県クリーンライフ100構想見直しに伴い、吉備中央町汚水処理基本構想の見直しを行って

答 山本町長 河川の公共水域の水質保全と密接に関連する下水処理施設の整備は、都市機能並びに地域住民の福祉の向上、生活環境の向上を図るものであり、市町村固有の事務と位置付けられている。町の下水道整備事業の現状は、吉備高原都市公共下水と、農業集落排水事業として尾原地区、井原・豊岡上地区、下加茂・上加茂・竹部地区で供用開始している。旧加茂川町で平成4年に、旧賀陽町で平成5年に基本構想が作成され、平成21年度に岡山県クリーンライフ100構想見直しに伴い、吉備中央町汚水処理基本構想の見直しを行って



スペース確保が課題



松井 健治 議員

問 所信表明、予算への反映は

答 限られた財源で対処した

問 平成25年度一般予算の中にどのように入り入れているのか尋ねる。

答 山本町長 限られた財源の中で自分の思いを予算化した。

問 12月定例会で所信表明した5項目について

- ◎ 議会との協調と連携
- ◎ 将来の地域のイメージづくり
- ◎ 定住促進
- ◎ 町民総参加の町づくり

答 制度の一本化
平成25年度一般予算の中にどのように入り入れているのか尋ねる。



働く場所が必要

観光地の紹介・特産づくり、教育力の向上等。また、定住促進のための補助金（Uターン・イターン・結婚支援等）や自治体の組織の一本化のための予算や、町民の方から意見を聞くための目安箱を設けた。

問

この予算は5年先・10年先を見すえた計画の1年目として捉えている。

答

決められた仕事をこなすのではなく、想像力を発揮して今何をすべきか考えられる人を選びたい。

問 平成21年度より児童生徒の学力向上に向けて総合的・組織的・継続的な取り組みについて（きび学プロジェクト）に基づいて、学校の取り組み・基本的知識の吸収・教員の資質向上・公開授業・他校への研修や習熟度別授業及びチームティーチングを実施している。土曜日授業は考えていないが、土曜

答 津島教育長 平成21年度より児童生徒の学力向上に向けて総合的・組織的・継続的な取り組みについて（きび学プロジェクト）に基づいて、学校の取り組み・基本的知識の吸収・教員の資質向上・公開授業・他校への研修や習熟度別授業及びチームティーチングを実施している。土曜日授業は考えていないが、土曜

問

この予算は5年先・10年先を見すえた計画の1年目として捉えている。

答

決められた仕事をこなすのではなく、想像力を発揮して今何をすべきか考えられる人を選びたい。

問 他県では、いじめによる自殺が大きな問題になっている。

答 町内小中学校のいじめの現状

問 他県では、いじめによる自殺が大きな問題になっている。

答 町内小中学校のいじめの現状



充実した教育に期待

問 平成22年土曜日授業の復活がまず東京都で始まり、全国の自治体で次々と導入している。県内では平成25年度岡山市が3回目試みる。中央に遅れること3年。町では未だ実施予定なしなので、早急に検討する必要がありますか。

答 町内小中学校では10件発生し、いじめも解決している。いじめはどの子にも、どの学校にも起りうることを考え、学校と連絡を取り合っている。県のマニュアルに従い、対策を取っている。

教育問題

問

平成24年4月の全国共通学力テストによれば、岡山県の小6・中3の生徒の学力は全国最低レベルにあり、かつての教育県・岡山の面影は見られない。

答 小中学生の学力向上の具体的な推進策。土曜日補習授業の開設についてどのよう

問

平成22年土曜日授業の復活がまず東京都で始まり、全国の自治体で次々と導入している。県内では平成25年度岡山市が3回目試みる。中央に遅れること3年。町では未だ実施予定なしなので、早急に検討する必要がありますか。

答

町内小中学校では10件発生し、いじめも解決している。いじめはどの子にも、どの学校にも起りうることを考え、学校と連絡を取り合っている。県のマニュアルに従い、対策を取っている。

問 町独自の避難者支援策を

答

町内の事情を踏まえて検討



森下 誠一 議員

問

原発事故で、自分の住み慣れた家に帰れない多くの避難者がいる。町は原発も遠く、より安全で自然豊かな町として、避難者に極めて人気が高い。県内でも多くの自治体が避難者支援をし、岡山市は19項目もの支援をしている。イターン奨励金など現支援制度を弾力的に柔軟に活用して、支援

答

新たな避難者支援策の創設を検討できないか。してはどうか。

山本町長 被災された方の苦労は大変耐え難いものがあると思う。今ある助成制度を柔軟に活用し、可能な限り支援したい。独自の避難者支援策の創設については、町内の事情を踏まえて検討したい。



進まない復興

答

町独自の就業支援制度はない。転入時は各幼稚園、小・中学校と連携を図り、既存の就業援助制度の周知を行い、就業支援をしていく。

問

昨年の秋から猛威を振るい、A型の流行が始まりB型へと、今だ警報の発令中。このインフルエンザに感染した児童への影響は、そして対応は。

答

児童は感染症が流行しやすく早期対応による拡大予防が大切で、感染症情報共有体制により対応する。

インフルエンザ

問

住宅を取得された方・就業された方・結婚された方・イターン、Uターンにより町内に就業、転入された方に対し、奨励金の交付制度がある。母子避難者に対して、交付要件が整えば条例・規則内で寛大に対応して、奨励金を交付する。

問

昨年予防接種補助の質問をした。今冬92人がインフルエンザに感染した。子供は学校を休む、親も仕事を休む、単に

答

石坂保健課長 保育園、幼稚園、小・中学校の、欠席者は合計92人。1幼稚園で園の閉鎖、2小学校で学年閉鎖、2中学校で学年閉鎖や学年閉鎖。警報後に告知放送をして全町民に周知した。

問

92人の子供が、というだけではない。インフルエンザの予防接種支援をするべきではないか。

答

町長 即答はできないが、家庭は大変だと昨年より今年の方が家計的にも楽になるように進めたい。

これ以外に、土曜日授業についても尋ねた。



予防接種で感染防止



草地 博之 議員

問 単身者向けの住宅が必要

答 民間活力も借りて実現を

問 現在進めている町営住宅や家の活用などは重要な施策である。現在までの町営住宅は家族向けの住宅として、若者の向きのコーポ式のワンルームマンションをつくることも必要と考える。

答 町としての建設が無理であれば、民間活力の導入も検討すべきではないか。



単身者向け住宅も必要

問 現在進めている町営住宅や家の活用などは重要な施策である。現在までの町営住宅は家族向けの住宅として、若者の向きのコーポ式のワンルームマンションをつくることも必要と考える。

答 町としての建設が無理であれば、民間活力の導入も検討すべきではないか。



町の重要な拠点

問 集中豪雨などの防災予告に問題があるので、告知放送を活用した周知の方法を検討してもらいたい。

問 昨今の教育界における問題は、学力の低下傾向、体罰、いじめ、校内暴力、不登校など多岐にわたっている。

答 現在、県の総合教育センターの協力を得ながら取り組んでいるが、町としての適応指導教室の設置が必要と考えている。



日名 文吾 議員

問 道路下法面の管理は誰が

答 一部でしか対応できていない

問 国道、県道、広域農道等の路面より上の法面は、担当の県や町が指導して維持管理をされているが、道路面より下の法面については、一切管理されていないと思う。そして、その下に私有地の農地等がある場合、法面に木や草が出たり、蜂やマムシが出て、大変困っている。何か良い方法はないか。

答 河内建設課長 国道、県道の維持管理は、備前県民局建設部で行われており、農道については町の建設課で管理を行っている。



法面の草刈りはたいへん

県では、近年早い対応ということから、通常の見回りを含まれて一部業者委託も行われている。また、道路の法面の草や木については、刈っても刈っても毎年生えてくるし、刈らなければ株も大きくなり、対応に苦慮している。支障と

問 平成26年4月の加賀中学校の開校までに、町内は市外局番無しでかけられるようにする方法はないか。

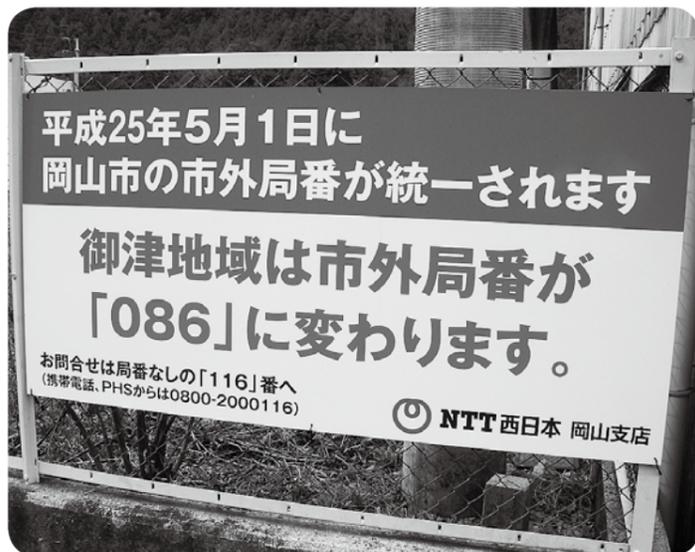
問 昨今の教育界における問題は、学力の低下傾向、体罰、いじめ、校内暴力、不登校など多岐にわたっている。

答 現在、県の総合教育センターの協力を得ながら取り組んでいるが、町としての適応指導教室の設置が必要と考えている。

また、一昨年から町の道路整備事業草刈り補助金という制度を設け、幹線町道などに1km当たり3万円の補助。

問 集中豪雨などの防災予告に問題があるので、告知放送を活用した周知の方法を検討してもらいたい。

答 現在、県の総合教育センターの協力を得ながら取り組んでいるが、町としての適応指導教室の設置が必要と考えている。



岡山市は統一されたが



日名 義人 議員

町民総参加の町づくりは

町は自分たちのものとの自覚で

「町民総参加の町づくり」の言葉からは、お祭りのように集まってお祭りのように集まってお祭りのように集まってお祭りのように集まるといえないが、「町民一

問

子育てで最も負担のかかる時期の高校生まで医療費無料化は、若者定住に支援となる。更なる支援策を「子育て卒業世代から引き出す」意識的取り組みは「町民参加の町づくり」のひとつでは。

答

そのため高校生までの医療費無料化、土曜日の終日保育、定住促進課の新設など、いろいろな施策に取り組んでいる。人口減に歯止めをかけることが最も大きな課題と考えている。

問

農業立町と中小農家について

農業立町対策として「直接支払い」「農地・水」「人・農地プラン」の継続の上に、土地集積など規模拡大の方向を示されたが、中・小農家対策は村の存続に欠かせない。この課題での「町民総参加で英知を」の取り組みが必要では。

答

国の補正予算の「新」交付金の活用について

安倍首相は大型公共事業大盤振る舞いの一方で、活用次第では住民利益に繋がる交付金（国補正予算）もあるようだが。

問

安倍首相は大型公共事業大盤振る舞いの一方で、活用次第では住民利益に繋がる交付金（国補正予算）もあるようだが。

答

財政難の時、急な補助事業などにも対応できるように、中長期的な思案で対応を指示している。が今回は計画や基準等で対象となる事業がなかったと思う。

人ひとり町は自分たちのものとの自覚で発言し行動する」ことが原点と思う。老若男女それぞれの立場得意分野を磨き、町に貢献することが町の底上げ、活気に繋がる。目安箱は既に多数の提案があり、すぐ取り組めるもの、長い目で検討すべきもの、それぞれ協議し生かしていく。私自身、自治組織や団体へ出かけ耳を傾ける。担当課も地域に足を運ぶよう努める。

問

「過疎に追い打ちのPPP参加表明(安倍首相)」の状況で町長の「国民総参加の町づくり」は、町の生き残りに全町民の主体的参加を呼びかけたものと考え質問。

答

指定管理の施設が町の繁栄につながるように、事業者も一生懸命頑張っておられるが、

問

指定管理の施設が町の繁栄につながるように、事業者も一生懸命頑張っておられるが、

答

指定管理の施設が町の繁栄につながるように、事業者も一生懸命頑張っておられるが、



町民の意見を反映



西山 宗弘 議員

公的施設の管理・修繕は 町と指定管理者で協議を

問

今定例会にも6施設の指定管理が選定され議案として上程されている。

答

選定の理由は、詳しく説明があったので理解しているが、指定管理を受けた業者は目的達成のため、かなりの経費を投資し運営していると聞く。



早くお風呂に入りたい

経緯を踏まえ、また、公の指定としての目的も考慮し、総合的に確に判断したい。

問

指定管理期間が終了する施設について、今議会にも議案として上程しているところである。2期目となる施設もあるが、今までの

答

指定管理期間が終了する施設について、今議会にも議案として上程しているところである。2期目となる施設もあるが、今までの

問

指定管理の施設が町の繁栄につながるように、事業者も一生懸命頑張っておられるが、

答

指定管理の施設が町の繁栄につながるように、事業者も一生懸命頑張っておられるが、

問

有害鳥獣の駆除について

イノシシの駆除に関しては、猟友会をはじめいろいろな方法で成果がでて

答

サルの対策ではないというものが現状であるが、猟友会の協力で23年度2頭だったものが24年度は14頭を捕獲した。現在、一番有効な



サルものも追え！

問

サルの対策ではないというものが現状であるが、猟友会の協力で23年度2頭だったものが24年度は14頭を捕獲した。現在、一番有効な

答

サルの対策ではないというものが現状であるが、猟友会の協力で23年度2頭だったものが24年度は14頭を捕獲した。現在、一番有効な

委員会の動き

民生文教 常任委員会

具体的学級規模は、O E C D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人学級以下とすること。

3月12日委員会を開催し、付託案件「少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請」について審査を行った。

○教育の機会均等と水準の維持を図るため、義務教育国庫負担割合を2分の1に復元すること。
以上の陳情を審査した結果、全員一致で採択とした。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。

産業建設 常任委員会

未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要がある。

○少人数学級を推進すること。

3月13日委員会を開催し農地への太陽光発電設備設置に関する陳情書についての審査を行った。

記

○自然エネルギーとして、農地への太陽光発電設備の設置規制緩和（特別区域の設定）

3月11日
総務常任委員会
総務課・企画課・協働推進課・議会事務局・税務課の調査を行った。

○太陽光発電設備設置による「晴れの国吉備中央町」のアピール

3月12日
民生文教常任委員会
福祉課・保健課・住民課・教育委員会の調査を行った。

○太陽光発電設備設置による吉備中央町の観光地としての町づくり促進 他

3月13日
産業建設常任委員会
建設課・農林課・水道課・協働推進課の調査を行った。

以上の陳情を審査した結果、全員一致で趣旨採択とした。

それぞれの委員会で、まず最初に各課の課長より予算の説明があり、続いて委員より内容等について質疑を行い、執行部より説明を受けた。最後に、執行部に対して、予算の適正な執行を求め、各委員は了承した。

平成25年度 予算調査会 (常任委員会)

平成25年度予算（一般・特別）会計の調査会を左記の日程で実施

それぞれの委員会で、まず最初に各課の課長より予算の説明があり、続いて委員より内容等について質疑を行い、執行部より説明を受けた。最後に、執行部に対して、予算の適正な執行を求め、各委員は了承した。

議会議員 研修会

平成25年2月8日、町農業振興センターに於いて町議会議員研修会を、執行部職員も参加して実施した。

講師に京丹後市前議長の池田恵一氏を招いて、「今議会に求められるもの」と題して講演をいただいた。
講演の後、質疑応答があり、議員、執行部職員ともに大変有意義な研修会となった。



真剣なおももちで

追跡

あの時の質問 どねんなった?

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。
(平成23年6月定例会の質問)



質問

「岡山県民の歯と口の健康づくり条例」施行を受け、町民の健康づくりへの具体的計画はあるか。

答弁

指針が示されたので、県と連携してより効果的な対応をしたい。
町民への情報提供に努め、虫歯予防の啓発や高齢者の健康講座も検討している。

その後(保健課)

現在、乳児には虫歯予防の話や歯磨き指導、高齢者は、口腔機能低下や誤嚥性肺炎予防のための歯磨き指導や健口体操を実施している。今後も歯科保健予防意識の向上に向けて検診体制の見直しや、8020運動を地域ぐるみで推進していく。

質問

庁舎内の照明器具をLEDに換えてはとの提案に対して、研究や検討をしているか。

答弁

比較的新しい庁舎だが、対応に向けて内部協議をしている。
いろいろな器具が混在しているので、全面的な交換は検討中である。公共施設を含めて早期のLED化を進めていきたい。

その後(総務課)

庁舎内の照明器具のLED化は、工事に多額の経費がかかるため、経費削減効果を検証するため業者と協議している。
総合会館では、蛍光管の交換だけでできる部分を平成23年度末に100本分交換し、LED化している。



シリーズ
地域で活躍する人たち
No.2

いわくら公園 さくら友の会



私たちが円城地区に住む有志は、5年前、「岡山県の中心地である岩倉山を県下有数の桜の名所にしよう」を合言葉に、「いわくら公園 さくら友の会」を発足させた。

若い会員がインターネットで広く「さくらオーナー」を募集した結果、県内外各地から

多数の応募をいただいた。現在では、94名の会員と千本の桜の下で花見ができることを夢見て、若木の手入れをしている。

会員になるには、入金金と桜苗木及びプレート代の実費が必要。プレートは写真のように氏名などを刻み、桜の根元に立てる。

「孫の入学記念」、「国家試験合格記念」、「還暦記念」、「父ちゃんさくら」など、会員のいろいろな思いをのせて桜は育っている。

私たち役員は、桜の植樹を通じて町内外の人たちとの新しい交流が始まり、互いの絆がより深まり、地域がますます元気になることを願っている。



今年も、4回目の「いわくら公園さくら祭り」が4月7日に盛大に行われた。
(杭田 元)

大月郷酒蔵 民具館

本館は、明治初期建築の酒蔵3棟を利用して昔のものを保存し、希望者には公開しております。所蔵品は数百点あり、粗分類は次の通りです。

- 昭和20年頃まで使用されていた酒造道具。
- 一般家庭で使用されていた昔の収納庫。
- 機械が導入される前



小学生の社会科の授業で見学が一応に驚かされるのは、古いラジオが鳴っていることと、台数の多さです。この分野では、県下に比類を見ません。

小学生的の社会科の授業「が私の持論で、この壮大なテーマを実現できたのは、地域に皆さまの支えと収納スペースがあつたからでした。さらに継続的な努力が必要と感じております。

場所 上竹4606
管理者 大月洋志

- の手作業農具。
- 電化される以前の生活小物。
- 終戦後に配給制で支給された残存軍事物資。
- 昭和初期から30年頃までの石油発動機25台(動く)と、同じく真空管ラジオ150台(鳴る)。
- 地域の皆さまから提供いただいた道具類ほか。



業として保存品の一部を利用して、農作業の体験学習を実施することもあります。「先人が生活の知恵と技術で作られた品物や、戦時物資のような特別な事情を秘めている商品を確認した後世に引き継ぐには、誰かが保存・管理しなければならぬ」が私の持論で、この壮大なテーマを実現できたのは、地域に皆さまの支えと収納スペースがあつたからでした。さらに継続的な努力が必要と感じております。

編集後記

日ごとに暖かくなり、日々忙しくなっております。

アベノミクスで景気は上向いたようですが、国会は相変わらず国民不在党利党略のようです。

町行政は山本町長の思いで、定任促進課ができて、人口の歯止めを期待しています。

3月議会では、傍聴者の方が多く来られました。皆さま方も議会の傍聴に、是非来て頂きますようお願い致します。

編集委員6名で読みやすく、わかりやすい「議会だより」へと頑張っています。

(森下誠一)

